

～ シン・フードコミュニケーション 新たな食生活様式が始まっている ～

農業からDXまで。

情報を司る「食業プロデューサー」の必要性

講師 ● 東北芸術工科大学

デザイン工学部 企画構想学科 准教授

松田 龍太郎

10/26 [水] 17:30~19:00

会員対象 オンライン(Zoom)開催 (要予約)

10/25(火)まで、後援会事務局へメールにて①会員企業名②職名・氏名③メールアドレスを送信してください。
メールにて Zoom 接続時 URL 等の情報を通知致します。



「シン・ウルトラマン」「シン・エヴァンゲリオン」。

単に「新」だけではなく、「真」「芯」「心」となるものは何か？

食に関わる領域においてコロナ禍のなか、大きく生活様式が変化した状況下で、農業からDX(デジタルトランスフォーメーション)までサプライチェーンにおける全領域を俯瞰し、判断する戦略家「食業プロデューサー」が必要とされています。

川上、「国」「行政官庁」の目線から、川下、生産農家、レストランのホールスタッフの声まで、この時代を生き抜く人の「変化」から、時代を読み取るコツをお話します。



松田 龍太郎 (まつだ・りゅうたろう)

東北芸術工科大学 企画構想学科 准教授
Foodnia Japan株式会社 代表取締役/食業プロデューサー

慶応義塾大学環境情報学部卒業後、日本放送協会に入局。報道カメラマンとして、全国各地の事件事故、災害など日々のニュースの現場をはじめ、紀行番組の撮影に従事。その後、企画・プロデューサー業に転職。2010年より株式会社oiseau(オアゾ)を立ち上げる。

「人と食の接点を、より良くする」をコンセプトに、食にまつわる事業開発・店舗開発、PRコンテンツ制作を得意とする。また、JETRO地域団体商標海外展開支援事業ブランドプロデューサー(大分日田梨、新潟清酒、北海道味噌)を務め、地域食材を海外に展開する事業の販促支援を実施。2021年より会社名を変更「Foodnia Japan(フードニアジャパン)株式会社」とし、アフターコロナの食の場づくりに鋭意している。

現在、教員と大学院修士生「半学半教」としてアップデート中。

東北芸術工科大学 後援会事務局

TEL: 023-627-2219

FAX: 0120-00-5606

MAIL: kouenkai@aga.tuad.ac.jp